

2023（令和5）年度 豊橋創造大学短期大学部 外部評価に対する所見・対応等

■幼児教育・保育科

外部評価者：社会福祉法人 幼保連携型認定こども園 明照保育園 理事長／園長

外部評価における意見・提言等	外部評価を受けての学科の所見及び対応等
(1)入学者の受け入れについて 大学の方針に基づき適切に実施されているが、少子化かつ多様な学生の質の現状に対処すべく、更なるアウトリーチのあり方や、より1人1人への対応と受け入れへの検討が必要となると思われる。	「更なるアウトリーチ」ということで、従来のオープンキャンパスの方式に加え、豊橋市保育課との連携、卒業生の参加（オープンキャンパス、授業等）を行うことによって、減少傾向にある入学者の増加を促すだけでなく、保育マーケットの醸成に努めるようにしている。 「1人1人への対応」ということでは、オープンキャンパス時に、すべての教員が個々の入学希望者と面談するようにし、多様な入学生の受け入れに努めるようにしている。また、園長推薦という、特別入試枠を設けることで、入学の門戸を広げた。
(2)カリキュラムの内容・学修方法・学修支援・学修成果について 2年間という短期間で自分の将来の目標を具体的に明確化し、主体的に勉学に向き合うために、入学当初に保育現場などで子どもに直接関わる経験があると良いのではないかと思う。	「子どもに関わる経験」に関しては、本学には附属幼稚園はないものの、昨年度より火曜日～木曜日（午前10時～午後3時）まで「つどいの広場」を開設し、子どもとのふれ合いの機会は以前よりは増している。また、時間的には厳しいものの、2年生の保育実習期間を利用し、1年生に子どもと触れ合う機会を作ることができないか検討して行きたい。
(3)本学の教育活動全般について 実習懇談会を通して、保育現場のニーズと大学のカリキュラムの現状等の共有が図られたことで、本学が地域の幼児教育、保育の質の向上の一端を担う存在であることが実証された。今後も会の継続を期待する。	実習懇談会という形で、本学のステークホルダーと情報の共有を図ることは、これまで以上に重要性を増すことと推測する。対面だけではなく、オンラインでも常時協議できる体制を確立したい。 このように情報共有についてはもちろんだが、就職面でも「こども未来お仕事フェア」の開催により、養成校、現場との協力体制が堅固になってきている。

■キャリアプランニング科

外部評価者：豊橋商工会議所ビジネスサポートセンター長

外部評価における意見・提言等	外部評価を受けての学科の所見及び対応等
(1)入学者の受け入れについて 評価：適切である 地元企業との密着型・実践的な活動により、定員数・充足率が改善された。地元密着型のインターンシップなどに苦勞されている点が見受けられるが、今後も、さらに卒業生の活躍実績(特に地元企業との密着性など)を露出させる、また実践的なプログラム(例;プログラミング、保育士体験など)を開催し、地域一体となった入学者へのアプローチができるとよい。	入学者を増やすことが依然として本科の最重要テーマである。指摘にもあるように、地域性を活かした教育及び成果の PR は差別化要因の一部と捉えている。近年の公務員や医療事務職における就職実績は、本科の強みでもあり、評価を受ける際にも、地域産業界にも伝えるべきとの意見交換を行った。このような成果を更に周知できるような取り組みを引き続き、検討していきたい。インターンシップや各種教育プログラムでの連携はもとより、地域産業の発展や人材育成にも貢献できるような取り組みを共に創出できるような連携と情報発信を検討していきたい。
(2)カリキュラムの内容・学修方法・学修支援・学修成果について 評価：適切である ポリシーにあるとおり、社会人基礎力や勤労観などに重きをおき、実務能力の習得や地元企業とのインターンシップによる連携強化を図っており、地元雇用の安定化へも貢献している。今後、さらに地元企業との連携や地域プロジェクトへの参画に期待したい。	カリキュラムについては、一定の評価をいただいている。地元企業との連携や地域プロジェクトへの参画を期待されているという助言を頂き、現路線の正しさを確認できた。豊橋商工会議所とは、職業教育や求人情報などについて定期的に意見交換を行っているが、今後は、地元企業との連携に向けた取り組み強化する方向で進めていきたい。
(3)本学の教育活動全般について 評価：適切である 少子化の中で、短期大学の差別化が難しい中、勤労観、就業を意識し、地元企業や地域社会に役立つ実践的な教育をポリシーに掲げながら活動を行っている。今後も、さらに地元企業と地域産業の発展・振興につながる地元密着型の大学としての活動に期待したい。	地元密着型の短期大学部として評価を頂けている点は、地域総合学科としての本科教育活動が、地域の多様なニーズに応えられているものと判断する。引き続き、地元企業と地域産業の発展・振興に貢献できるように活動していきたい。また、一方で本科学生の学びに対するニーズも多様である。科目やコース、履修形態など、更に満足度を高められるよう、改善に努めていく。